

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2022年6月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

当ファンドの運用状況

当ファンドのパフォーマンスは、直近数ヶ月軟調な展開となっております。当ファンドで組入比率の少ないバリュー株（通信、電力など）の上昇は年初来続いているため、当ファンドの主な投資対象であるグロース株との株価の乖離は継続している状況です。既報の通り、私どもはバリュー株には成熟した内需型企業が多く、今後も低成長が続くと考えております。

当ファンドのポートフォリオは、長期的に成長が期待できる確信度の高いグローバル企業に投資しており、中長期的にTOPIXを上回る成長を遂げていくという考えに変わりはありません。

当ファンドの基準価額と参考指数の推移

(2008年3月27日～2022年6月17日)



当ファンドと参考指数のROE・PER

	実績ROE* (2022年5月末時点)	予想PER (倍)	
		2021年12月末	2022年5月末
当ファンド	11.9%	21.7	16.5
TOPIX (配当込み)	8.6%	15.5	13.7

⇒昨年末と比較すると、
株価下落により当ファンドの
PERは切り下がっており、
割安感が出てきている

* 実績ROEは2022年5月末時点で取得可能なデータを元に算出しています。

※ 参考指数（TOPIX（配当込み））は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、税引前の分配金を再投資したもとして計算したものです。

※ 基準価額は信託報酬控除後です。

出所：スパークス・アセット・マネジメント、東洋経済、FactSet Pacific Inc.（2022年5月末日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関の場合、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2022年6月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

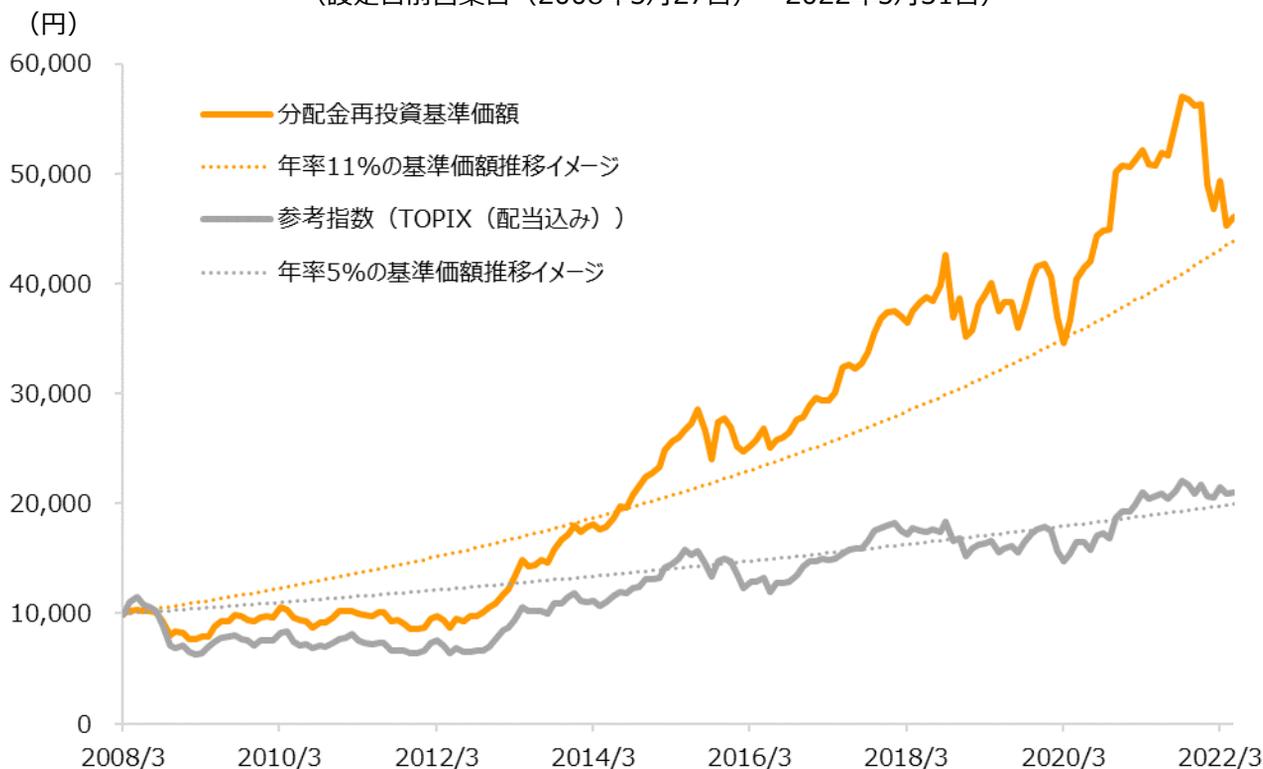
当ファンドの年率リターンイメージ

当ファンドの年率リターンは年率11%程度で推移しており、参考指数（TOPIX（配当込み））を大きく上回るパフォーマンス実績を残してまいりました。

足元当ファンドにとっては厳しい環境が継続しておりますが、受益者の皆様におかれましてはぜひとも長期的な目線で当ファンドを継続保有いただけますと幸いです。

当ファンドの基準価額と参考指数の年率リターン推移のイメージ

(設定日前営業日(2008年3月27日)～2022年5月31日)



年率リターン・年率リスクの比較

(2022年5月31日現在)

	当ファンド	TOPIX (配当込み)	TOPIXとの差
設定来リターン	360.73%	110.81%	249.92%
年率リターン	11.16%	5.30%	5.86%
年率リスク	19.52%	21.26%	-1.74%

※ 年率リターンは計算期間における年率（1年換算）の収益率、年率リスクは計算期間における年率リターン（1年換算）の変動割合を示しています。

※ 基準価額は信託報酬控除後です。

※ TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマークではありません。

出所：スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2022年5月末日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関の場合、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2022年6月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

現在の組入銘柄を冷静に保有し続けている理由

現在の市場環境下で、当ファンドが冷静に現在の組入銘柄の保有を続けている理由は、日本を代表するこれらのグローバル成長企業は高い参入障壁を維持しながら、長い目でみれば大きな利益成長を遂げるであろうと考えるためです。

企業の株価は、利益水準の変化とPERの変化に分けて分析が可能です。下表で示す通り、これまで当ファンド組入銘柄の株価を押し上げてきた要因の大部分が大幅な利益増によるものだということがお分かりいただけるかと思えます。

現在、当ファンドは近年経験したことのない下落を余儀なくされておりますが、私どもの投資先企業は参入障壁に裏打ちされた高い利益成長実績を持ち、今後もグローバルで膨大な成長余地が残されていると判断し、自信を持って保有を継続します。

当ファンドの主要組入銘柄の株価、純利益、PERの推移

(投資開始時～2022年5月末)

	投資開始時期	株価上昇率 (投資開始～2022年5月末)	来期純利益予想 (億円)		純利益増加率 (投資開始～2022年5月末)	予想PER (倍)		PER上昇率 (投資開始～2022年5月末)
			投資開始時	2022年5月末		投資開始時	2022年5月末	
シマノ	2008年3月	5.0倍	253	1,134	4.5倍	17.0	18.4	1.1倍
ユニ・チャーム	2008年3月	5.4倍	173	796	4.6倍	29.8	33.1	1.1倍
キーエンス	2008年3月	10.6倍	638	3,429	5.4倍	18.7	36.5	2.0倍
日本電産	2013年2月	6.5倍	179	1,676	9.4倍	41.2	30.2	0.7倍
テルモ	2014年5月	4.0倍	393	1,013	2.6倍	20.1	30.9	1.5倍

株価の押し上げ要因の大部分はPERの切りあがりによるものではなく、大幅な利益増によるもの！

**投資先企業は参入障壁に裏打ちされた高い利益成長実績あり！
今後もグローバルで膨大な成長余地が残されていると判断し、
自信を持って保有を継続しております！**

※ 来期純利益予想は、FactSet Pacific Inc. のコンセンサス予想を使用しています。

※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2022年5月末日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関の場合、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2022年6月

特化型

追加型投信／国内／株式

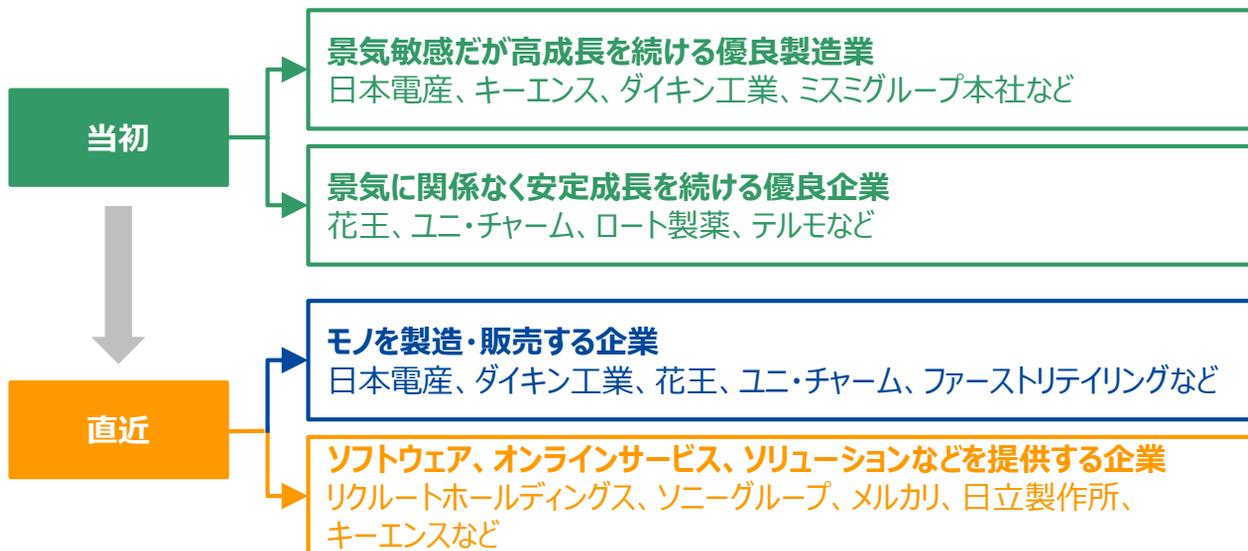
スパークス・アセット・マネジメント株式会社

(ご参考) 当ファンドのポートフォリオの進化

当ファンドでは集中投資型ポートフォリオであるからこそ、リスク管理上、可能な限り「保有銘柄のビジネスを高度に分散」させています。直近ではインフレ脅威の影響が軽微と考えられる、ソフトウェア、オンラインサービス、ソリューションなどを提供する企業の保有比率を拡大しています。

魅力的なビジネスと卓越した経営陣を併せ持つ企業に投資し、高度に分散した集中ポートフォリオを構築することで、最良な投資機会の提供に努めてまいります。

当ファンドにおけるポートフォリオの考え方



当ファンドの分類別保有比率の推移 (直近10年)

(2012年5月31日～2022年5月31日)



※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

※ 当ファンドの分類別保有比率は、2022年5月末日現在の保有銘柄のうち、明確に分類可能な14銘柄を対象に直近10年間の保有比率を遡及して計算しています。2022年5月末日現在の非保有銘柄の保有比率は含まれておりません。

出所：スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2022年5月末日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関の場合、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2022年6月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■投資リスク

当ファンドは、主として国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。**従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

ファンドが有する主な変動要因は、次の通りです。※変動要因は下記に限定されるものではありません。

●株価変動リスク ●集中投資のリスク ●信用リスク ●その他（システムリスク・市場リスクなどに関する事項）

ファンドのリスクなどについては、「投資信託説明書（交付目論見書）」にわくわく記載されております。お申込みにあたっては、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.804%（税抜1.64%）を乗じて得た額とします。〔委託会社0.99%（税抜0.90%）、販売会社0.77%（税抜0.70%）、受託会社0.044%（税抜0.04%）〕 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
	監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
随時	その他費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が別に定める単位 ※詳しくは販売会社までお問い合わせ下さい。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には制限を設ける場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。確定拠出年金制度の加入者等については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用となります。原則として配当控除の適用が可能です。 * 上記は2022年4月末日現在のものですので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

■特化型に関して

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2022年6月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

■指数に関して

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、J P X は TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止または TOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
（加入協会）一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
委託会社の指図に基づき信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照
ファンドの受益権の募集、販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
株式会社 S B I 証券 ^{※1}	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
岡三証券株式会社 ^{※2}	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第53号	○	○		
株式会社きらぼし銀行 （委託金融商品取引業者 きらぼしライ フデザイン証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第53号	○	○		
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3198号	○			
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長（登金）第6号	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○	○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第3号	○			
株式会社新生銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証 券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○	○		
損保ジャパン D C 証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第106号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第40号	○			
東海東京証券株式会社 ^{※3}	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
株式会社東京スター銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第579号	○	○		
とちぎん T T 証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号	○			
西日本シティ T T 証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第6号	○	○		○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号	○		○	
LINE証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3144号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号	○		○	○

※1 株式会社 S B I 証券は、一般社団法人日本STO協会に加入しています。

※2 岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会に加入しています。

※3 東海東京証券株式会社は、一般社団法人日本STO協会に加入しています。

〔お問い合わせ先〕 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号：03-6711-9200（受付時間：営業日9：00～17：00）